

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

国立大学法人大阪大学（証券コード：-）

【据置】

| | |
|---------|-----|
| 長期発行体格付 | AAA |
| 格付の見通し | 安定的 |
| 債券格付 | AAA |

■ 格付事由

- 日本を代表する総合大学の一枚。懐徳堂、適塾の市民精神を受け継ぎ、1931年に創設された。「地域に生き世界に伸びる」をモットーにしており、社会とのつながりが強い。また、研究力に優れ、免疫学、量子情報・量子生命、ヒューマン・メタバース疾患を世界的な研究拠点とするほか、これらに続く研究領域の創出・育成にも注力している。中長期的な経営ビジョン「OU マスタープラン 2027」では、知・人材・資金の好循環を生み出す「OU エコシステム」を活動基盤に、「生きがいを育む社会を創造する大学」を目指している。大学、大学院の学生獲得力、ならびに社会への人材輩出力は強く、外部資金の獲得力も国内屈指である。24年10月に特定国立大学法人として運営方針会議を設置した。
- 国立大学法人制度の安定性に変化はない。しかし、運営費交付金の増加が見込みづらい中、物価や賃金の上昇傾向にあり、事業環境は厳しい。その中で、本学は、国や民間からの資金獲得機会を捉え、運営財源を拡大させている。今後、資金運用収入などによる収益源の多様化と、経営資源の戦略的再配分を一層進めていく方針であり、財政基盤の強化と事業活動の活性化が見込まれよう。また、病院の再開発が本格化するが、その経営状況から着実な債務償還が可能とみられる。格付は法人個別の状況に加え、国等による信用補完効果を織り込んで総合的に判断している。以上を勘案し、格付を据え置きとし、見通しは安定的とした。
- 阪大版プロボストと戦略会議の下、本部と現場の意思疎通を重視した最適な意思決定を行う体制を築いている。外部資金は運営費交付金を上回る規模に成長しており、こうした運営財源が経営改革の推進を支えている。特に近年は、大学内に民間との研究組織・研究拠点を設置する大型の共同研究が増えている。ラボ棟の建設計画もあり、さらなる増加が見込まれる。また、財務運営を統括する CFO、資金運用を統括する CIO の設置により、財務経営体制を強化する予定である。さらに、国際卓越研究大学制度への対応も進めている。
- 法人全体への影響が大きい医学部附属病院は、臨床研究中核病院や特定機能病院、さらには医師養成機関として重要な役割を担う。インフレや医師の働き方改革により、支出負担は増す方向にあるが、足元の経営状況に大きな問題はない。現在、統合診療棟の整備が本格化しており、25年度に開院予定である。将来的には病棟整備も視野に入ってくる。建築資材高騰もあり、投資負担は軽くない。債務の返済負担は平準化されるとはいえ、機能改善を活かして収入拡大を一層図っていく必要がある。

（担当）殿村 成信・安部 将希

■ 格付対象

発行体：国立大学法人大阪大学

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|-----|-----|
| 長期発行体格付 | AAA | 安定的 |

| 対象 | 発行額 | 発行日 | 償還期日 | 利率 | 格付 |
|-----------------|-------|------------|------------|--------|-----|
| 第1回国立大学法人大阪大学債券 | 300億円 | 2022年4月28日 | 2062年3月17日 | 1.169% | AAA |

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年12月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「財投機関等の格付方法」（2020年5月29日）、「国立大学法人」（2022年8月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 国立大学法人大阪大学
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル